

第34回くまもと車いすふれあいジョギング大会報告

平成30年10月8日（体育の日）、菊陽町で第34回ふれあいジョギング大会が開催されました。

今年も例年と同じく障がい者スポーツ指導員の皆さんに、記録とコース誘導等の担当として、大会の運営に関わりました。

当日は、体育の日に相応しい晴天で、屋外スポーツには絶好のコンディションでした。欲を言うと、少し暑すぎた気がしました。



競技は、生活用車いす 1 km・3 kmの部と競技用車いす 4.5kmの部の3種目に、県内外から126人が出場と、この15年で最高の参加者数となりました。



この大会は、日頃外出したり屋外でスポーツを楽しんだりする機会の少ない重度の障がい者（電動車いす・足けり車いすなど）の皆さんも出場できる、数少ないロード大会です。

当協議会のスポーツ指導員は、記録を担当された方々は、各種目に分かれ、ゴール地点で記録の測定を、誘導を担当された方々は、コース上の各交差点で、選手のコース誘導と安全走行などの注意喚起という役割を担っていました。楽しそうに走る選手を声をかけ応援をしながらそれぞれの役目を果たしていました。

選手たちが走り終えた後は、菊陽町図書館ホールで参加した選手やボランティアのみなさんと一緒に、だご汁を食べながら熊本で人気の大田黒浩一さんのトークショーを楽しみました。

今回は、初めてスタッフとして参加された方も多くおられました。これをきっかけに、今後も多くの会員の方々に活動していただき、熊本の障がい者スポーツを盛り上げていけたら何よりだと思います。まだ活動に参加したことのない会員のみなさんも、県内各地で実施されている様々な活動に、是非ご参加ください。



ご協力をいただいた会員の皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。